

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0893300020		
法人名	有限会社 ハイブリッジ		
事業所名	グループホーム メジロ苑		
所在地	茨城県那珂郡東海村白方1306-1 (電話) 029-306-0033		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年3月13日	評価確定日	平成21年7月21日

【情報提供票より】 (平成21年2月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成20年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	18人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造 平屋造り		
	1階建ての 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (50,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	368 円	昼食 578 円
	夕食	608 円	おやつ 105 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成21年2月13日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.4 歳	最低	75 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東原クリニック, 村立東海病院, 久慈茅根病院, 伊藤デンタルクリニック
---------	--------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に位置しているが少し歩くと商店や公民館など利便性に富んでいる。
敷地内に畑があり、利用者は畑で収穫した野菜を調理している。
利用者は穏やかで明るく、長い間過ごしてきた家族のように仲良く生活している。
経験豊かな施設長のもと職員は丁寧で確かな支援を心がけており、向上心に燃え資格取得で更なるステップアップを図っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)	初回の受審につき該当なし。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)	自己評価や外部評価の意義や目的を職員に理解してもらうとともに、全職員で自己評価を作成した。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)	運営推進会議は利用者の代表、家族等の代表、役場職員、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、業務部長、施設管理者で2ヶ月に1回開催している。 会議で出た意見をカンファレンス時に職員に周知するとともに、全職員で検討しサービスの質の向上に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)	家族等の訪問時に意見を聴くとともに家族会開催時に出た意見や要望を運営に活かしている。 意見箱を玄関に設置しているが家族等からの意見や苦情等の投函実績がないので無記名のアンケート調査を実施し、サービスの質の向上に活かすことが望まれる。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)	自治会に加入しコミュニティセンターの陶芸や体操に参加するほか、薩摩芋堀りなど地域行事や近隣グループホームと共同で夏祭りや芋煮会を開催して地域の人々を招いたり、幼稚園児の訪問などで交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりに寄り添い、感謝の心で接します。笑顔でふれあい、地域にとけこみ、共に歩いていけるホームを目指します」という独自の理念を全職員でつくり、住み慣れた地域で継続した暮らしができるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関と各ユニットに理念を掲示するとともに職員で共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しコミュニティセンターの陶芸や体操に参加するほか、薩摩芋掘りなど地域行事や近隣グループホームと共同で夏祭りや芋煮会を開催して地域の人々を招いたり、幼稚園児の訪問などで交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価の意義や目的を職員に周知するとともに、全職員で自己評価を作成している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は利用者の代表、家族等の代表、役場職員、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、業務部長、施設管理者で2ヶ月に1回開催している。 会議で出た意見をカンファレンス時に職員に周知するとともに、全職員で検討しサービスの質の向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は村担当部署を訪問して運営上の相談をするほか、村主催の認知症講習会等に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の訪問時に利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理の報告をし確認印をもらっているが印漏れが散見している。 また、訪問の少ない家族等には電話で暮らしぶりや健康状態を報告している。	○	金銭管理などの報告書類は全ての家族等から確認印をもらうことが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関に設置しているが家族等からの意見や苦情等の投函実績はない。 家族等の訪問時に意見を聴くとともに家族会開催時に出た意見や要望を運営に活かしている。	○	意見箱には家族等からの意見や苦情等の投函実績がないことから無記名のアンケート調査を実施し、サービスの質の向上に活かすことが望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動があった場合は利用者のダメージに配慮し、後任の担当者に十分な引き継ぎをしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じた研修計画を作成するまでには至っていない。	○	職員の段階に応じた研修計画を作成し、内部研修や外部研修を受講する機会をつくとともにサービスの質の向上に活かすことを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列のグループホームと芋煮会等の行事で交流するほか、居宅介護支援事業所と情報や意見交換をしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に家族等とホームを見学してもらい、ホームでの生活が無理なくできるかどうか納得したうえで利用を開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の準備や後片付けなど、利用者のできる範囲で職員と一緒に支援をしている。 また、家族等から届いた野菜の調理方法や伝統料理を利用者から学ぶなど共に支え合う関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや言葉を日々記録して職員で共有している。 思いをうまく伝えられない利用者には職員のカンファレンスや申し送り時などで把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1週間ごとにカンファレンスを開き、利用者や家族等、職員の意見を反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	短期計画は3ヶ月、長期計画は6ヶ月ごとに介護計画を見直すとともに、利用者の状態に変化が生じた場合はその都度現状に即した介護計画に見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携医による週1回の訪問診療のほか、緊急時には協力医療機関と24時間の協力体制を整えている。 また、利用者のかかりつけ医に通院支援をするとともに、利用者が入院した場合は日中の付き添いを家族等に代わって支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診は家族等のほか職員も支援している、 かかりつけ医の診療情報や往診医の受診結果を記録し、利用者とかかりつけ医のつなぎ役として支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合における対応にかかる指針」を作成し利用契約時に利用者や家族等に説明するとともに同意を得ている。 また、利用者から意思確認ができるうちに「看取りに関する意向確認書」を作成し同意を得ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対する対応や言葉かけなどは親しみやすく行うとともにプライバシーに配慮している。 利用者の記録等はユニットのスタッフルームに保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活は自由に過ごせるよう起床時間や入浴時間も利用者の希望にそって支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は台所で職員と一緒に食事作りをしたり、テーブル拭きや食器拭き、おしぼり配りなどの準備や後片付けをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者の希望やタイミングに合わせて支援している。 また、季節の菖蒲湯やゆず湯などを楽しめるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者や家族等から生活歴を聞き、趣味や楽しみごとを支援している。 農作業の得意な利用者は、野菜の種まきから収穫までを楽しみ、採れた野菜を食卓にのせて喜ばれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や体調に合わせてホーム周辺の田園地帯を散歩したり、車で買い物に出かけるなどの支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鍵をかけていない。 利用者は畑の水遣りや花壇の花の成長の様子を見に自由に入出入りしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災計画を立てているが訓練を実施するまでには至っていない。	○	夜間の災害を想定した避難訓練や地域の人々との合同での防災訓練の実施が望まれる。 また、災害時の非常食の備蓄についても検討が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎回記録しているが、水分の摂取量を毎回記録するまでには至っていない。	○	一日を通じた水分摂取量を把握し記録することが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下、居間、台所の随所に心和む絵や利用者の作品を飾るとともに、気にならない音量の音楽を流し穏やかに居心地良く過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の使い慣れたテレビや冷蔵庫などを持ち込み、安心して過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。